



平成28年4月11日

各 位

会 社 名 株式会社フジ
代表者名 代表取締役社長 尾崎 英雄
(コード番号 8278 東証第一部)
問合せ先 専務取締役専務執行役員
経営企画担当 佐伯 雅則
(電話番号 089-922-8112)

(訂正)「平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年7月1日に開示いたしました「平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 訂正の理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、平成28年4月11日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上



(訂正後)

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月1日

上場会社名 株式会社 フ ジ 上場取引所 東・大
 コード番号 8278 URL <http://www.the-fuji.com/>
 代表者(役職名)代表取締役社長 (氏名)尾崎 英雄
 問合せ先責任者(役職名)常務取締役 企画・開発本部長 (氏名)佐伯 雅則 (TEL) (089)922-8112
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	76,963	△1.5	908	△36.9	1,206	△25.5	670	△29.1
25年2月期第1四半期	78,150	1.8	1,439	△2.7	1,621	5.7	945	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 3,025百万円(144.6%) 25年2月期第1四半期 1,236百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	18 99	—
25年2月期第1四半期	26 78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	155,228	57,826	37.2
25年2月期	151,713	55,065	36.2

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 57,826百万円 25年2月期 55,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	7 50	—	7 50	15 00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	7 50	—	7 50	15 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	157,500	0.2	2,500	0.6	2,700	1.1	1,050	△0.8	29 76
通期	315,000	0.1	5,200	△0.4	5,500	△0.3	2,200	23.5	62 35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 ()、除外 一社 ()
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年2月期1Q	35,300,560株	25年2月期	35,300,560株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	19,789株	25年2月期	19,789株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年2月期1Q	35,280,771株	25年2月期1Q	35,281,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融緩和をはじめとした各種政策への期待感から輸出関連企業を中心に景況感は回復しつつあるものの、エネルギーコストの上昇や原材料価格の値上げなどによる国内景気の下振れが懸念されています。個人消費に関しても、一部の高額商品等の動きが活発になっているものの、消費増税による不安感もあり、引き続き厳しい状況が続きました。

このような環境のなかで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、経営ビジョン「中四国くらし密着ドミナント(※)」のもと、地域の豊かなくらしづくりと地域社会の発展に貢献できる企業集団を目指し、各社の有する経営資源を最大限に活用し、地域のお客様のくらしに密着した店舗及び事業の構築を推進しています。(※ドミナント・・・一定の地域において、占有率を高め同業他社と比較して優位性を確保する戦略)

当第1四半期連結累計期間における業績は、ギフト券の販売契約の変更などにより営業収益が微減となるとともに、新カード「エフカ」の発行に伴う導入費用もあり減益となりましたが、計画に対しては概ね予定どおりに推移しています。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は769億63百万円(前年同期比1.5%減)となりました。営業利益は9億8百万円(前年同期比36.9%減)、経常利益は12億6百万円(前年同期比25.5%減)、四半期純利益は6億70百万円(前年同期比29.1%減)となりました。

(連結業績)

(単位：百万円)

	平成25年 2 月期第 1 四半期		平成26年 2 月期第 1 四半期	
		前年同期比		前年同期比
営業収益	<u>78,150</u>	<u>1.8%増</u>	<u>76,963</u>	1.5%減
営業利益	<u>1,439</u>	<u>2.7%減</u>	<u>908</u>	<u>36.9%減</u>
経常利益	<u>1,621</u>	<u>5.7%増</u>	<u>1,206</u>	<u>25.5%減</u>
四半期純利益	<u>945</u>	—	<u>670</u>	<u>29.1%減</u>

セグメント別の状況は、次のとおりです。

【小売事業】

総合小売業では、平成25年度の経営方針を『「うれしい」をかたちに。』とし、「うれしい」があふれる明るく元気な店舗・売場づくりと経営基盤強化に向けたコスト構造の改革を推し進めています。

3月より電子マネー機能を搭載した新カード「エフカ」の発行を開始し、既存カードからの切り替え及び新規発行を行っています。5月末時点で約75万枚のカードを発行しており、特に電子マネーについては当初計画を上回る利用状況でお客様の新しい決済手段として定着しています。

店舗では、3月にフジグラン石井(徳島県名西郡石井町)を改装するなど引き続き既存店の活性化と収益力向上に取り組むとともに、今期新設する3店舗の開設を準備しています。また、株式会社フジマートでは、広島地区でのシェア拡大に向けて、地域密着型店舗として6月に「ピュアークック五月が丘店」(広島市佐伯区)を出店いたしました。

一方で、お客様の多様化するライフスタイルに対応するため、ネットスーパー「おまかせくん」において、配達エリアを拡大するとともにサービスの拡充を図っています。また、農業分野については、前連結会計年度にスタートしたマルシェ事業の推進に加え、地域と連携し生産から販売にわたるビジネスモデルの構築を進めています。

これらの結果、小売事業の営業収益は765億65百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

【小売周辺事業】

食品製造・加工販売業では、前連結会計年度に新設した惣菜工場の活用により、更なる店頭競争力の強化と収益力の向上に努めています。

飲食業では、「KFC(ケンタッキーフライドチキン)イオンモール高知店」(高知県高知市)と「KFCフジグラン野市店」(高知県香南市)の2店舗を新設いたしました。一方で、経営効率を高めるために2店舗閉店いたしました。

また、3月より当社のクレジットカード事業を承継させ、株式会社フジ・カードサービスによる事業を開始いたしました。新カード「エフカ」の発行及び既存カードからの切り替えを当社とともに進め、カード関連事業での収益性の向上とカード情報を活用した営業支援の強化を図っています。

これらの結果、小売周辺事業の営業収益は53億54百万円(前年同期比8.9%増)となりました。

【その他】

不動産賃貸業では、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。これらの結果、その他事業の営業収益は6億26百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

(注) セグメント別の営業収益には、売上高及び営業収入を含め、セグメント間の取引も含めています。

また、記載金額には消費税等を含めていません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、投資その他の資産が31億40百万円増加し、一方で、有形固定資産が4億2百万円減少したことなどにより1,552億28百万円となり、前連結会計年度末と比較し35億15百万円増加しました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金が26億51百万円増加し、一方で、長期借入金が18億35百万円減少したことなどにより974億2百万円となり、前連結会計年度末と比較し7億53百万円増加しました。

純資産の残高は、578億26百万円となり、前連結会計年度末と比較し27億61百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月15日に発表した第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,411	5,828
売掛金	1,581	1,831
営業貸付金	2,215	2,047
商品	11,440	11,909
その他	2,636	2,294
貸倒引当金	△396	△379
流動資産合計	22,888	23,531
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	50,439	49,874
土地	30,922	31,135
その他(純額)	5,013	4,962
有形固定資産合計	86,374	85,972
無形固定資産	5,936	6,070
投資その他の資産		
差入保証金	13,060	13,077
建設協力金	8,062	7,646
その他	15,392	18,931
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	36,513	39,654
固定資産合計	128,825	131,697
資産合計	151,713	155,228
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,044	20,695
短期借入金	15,106	13,297
未払法人税等	825	532
賞与引当金	874	1,590
商品券回収損引当金	89	95
その他	9,391	9,611
流動負債合計	44,331	45,823
固定負債		
長期借入金	34,026	32,190
退職給付引当金	1,406	1,410
役員退職慰労引当金	291	261
利息返還損失引当金	971	931
長期預り保証金	12,271	12,185
資産除去債務	2,608	2,621
その他	741	1,975
固定負債合計	52,317	51,578
負債合計	96,648	97,402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,921	15,921
資本剰余金	16,257	16,257
利益剰余金	<u>21,938</u>	<u>22,343</u>
自己株式	△35	△35
株主資本合計	<u>54,081</u>	<u>54,487</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	983	<u>3,339</u>
その他の包括利益累計額合計	983	<u>3,339</u>
純資産合計	<u>55,065</u>	<u>57,826</u>
負債純資産合計	<u>151,713</u>	<u>155,228</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 5 月31日)
売上高	73,536	72,347
売上原価	57,211	56,105
売上総利益	16,324	16,242
営業収入		
不動産賃貸収入	1,534	1,548
その他の営業収入	3,080	3,066
営業収入合計	4,614	4,615
営業総利益	20,939	20,858
販売費及び一般管理費	19,499	19,950
営業利益	1,439	908
営業外収益		
受取利息	60	54
受取配当金	75	78
持分法による投資利益	77	116
未請求ポイント券受入額	85	140
その他	158	154
営業外収益合計	458	543
営業外費用		
支払利息	239	200
商品券回収損引当金繰入額	15	19
その他	20	24
営業外費用合計	276	244
経常利益	1,621	1,206
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	9	18
リース解約損	—	1
投資有価証券評価損	5	—
店舗解約損失	24	14
特別損失合計	39	33
税金等調整前四半期純利益	1,581	1,173
法人税等	636	503
少数株主損益調整前四半期純利益	945	670
四半期純利益	945	670

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 5 月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	945	670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	297	2,352
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	3
その他の包括利益合計	291	2,355
四半期包括利益	1,236	3,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,236	3,025
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



(訂正前)

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月1日
東・大

上場会社名 株式会社 フ ジ 上場取引所
 コード番号 8278 URL <http://www.the-fuji.com/>
 代表者(役職名)代表取締役社長 (氏名)尾崎 英雄
 問合せ先責任者(役職名)常務取締役 企画・開発本部長 (氏名)佐伯 雅則 (TEL) (089) 922-8112
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	76,619	△1.5	935	△36.3	1,241	△25.0	706	△28.1
25年2月期第1四半期	77,792	1.3	1,470	△0.6	1,657	8.0	982	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 3,043百万円(139.7%) 25年2月期第1四半期 1,269百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	20 02	—
25年2月期第1四半期	27 85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	154,432	59,722	38.6
25年2月期	151,052	56,944	37.6

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 59,722百万円 25年2月期 56,944百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	7 50	—	7 50	15 00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	7 50	—	7 50	15 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	157,500	0.7	2,500	2.8	2,700	2.6	1,050	1.6	29 76
通期	315,000	0.5	5,200	0.3	5,500	0.3	2,200	24.6	62 35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年2月期1Q	35,300,560株	25年2月期	35,300,560株
26年2月期1Q	19,789株	25年2月期	19,789株
26年2月期1Q	35,280,771株	25年2月期1Q	35,281,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融緩和をはじめとした各種政策への期待感から輸出関連企業を中心に景況感は回復しつつあるものの、エネルギーコストの上昇や原材料価格の値上げなどによる国内景気の下振れが懸念されています。個人消費に関しても、一部の高額商品等の動きが活発になっているものの、消費増税による不安感もあり、引き続き厳しい状況が続きました。

このような環境のなかで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、経営ビジョン「中四国くらし密着ドミナント(※)」のもと、地域の豊かなくらしづくりと地域社会の発展に貢献できる企業集団を目指し、各社の有する経営資源を最大限に活用し、地域のお客様のくらしに密着した店舗及び事業の構築を推進しています。(※ドミナント・・・一定の地域において、占有率を高め同業他社と比較して優位性を確保する戦略)

当第1四半期連結累計期間における業績は、ギフト券の販売契約の変更などにより営業収益が微減となるとともに、新カード「エフカ」の発行に伴う導入費用もあり減益となりましたが、計画に対しては概ね予定どおりに推移しています。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は766億19百万円(前年同期比1.5%減)となりました。営業利益は9億35百万円(前年同期比36.3%減)、経常利益は12億41百万円(前年同期比25.0%減)、四半期純利益は7億6百万円(前年同期比28.1%減)となりました。

(連結業績)

(単位：百万円)

	平成25年2月期第1四半期		平成26年2月期第1四半期	
		前年同期比		前年同期比
営業収益	<u>77,792</u>	<u>1.3%増</u>	<u>76,619</u>	1.5%減
営業利益	<u>1,470</u>	<u>0.6%減</u>	<u>935</u>	<u>36.3%減</u>
経常利益	<u>1,657</u>	<u>8.0%増</u>	<u>1,241</u>	<u>25.0%減</u>
四半期純利益	<u>982</u>	—	<u>706</u>	<u>28.1%減</u>

セグメント別の状況は、次のとおりです。

【小売事業】

総合小売業では、平成25年度の経営方針を『「うれしい」をかたちに。』とし、「うれしい」があふれる明るく元気な店舗・売場づくりと経営基盤強化に向けたコスト構造の改革を推し進めています。

3月より電子マネー機能を搭載した新カード「エフカ」の発行を開始し、既存カードからの切り替え及び新規発行を行っています。5月末時点で約75万枚のカードを発行しており、特に電子マネーについては当初計画を上回る利用状況でお客様の新しい決済手段として定着しています。

店舗では、3月にフジグラン石井(徳島県名西郡石井町)を改装するなど引き続き既存店の活性化と収益力向上に取り組むとともに、今期新設する3店舗の開設を準備しています。また、株式会社フジマートでは、広島地区でのシェア拡大に向けて、地域密着型店舗として6月に「ピュアークック五月が丘店」(広島市佐伯区)を出店いたしました。

一方で、お客様の多様化するライフスタイルに対応するため、ネットスーパー「おまかせくん」において、配達エリアを拡大するとともにサービスの拡充を図っています。また、農業分野については、前連結会計年度にスタートしたマルシェ事業の推進に加え、地域と連携し生産から販売にわたるビジネスモデルの構築を進めています。

これらの結果、小売事業の営業収益は765億65百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

【小売周辺事業】

食品製造・加工販売業では、前連結会計年度に新設した惣菜工場の活用により、更なる店頭競争力の強化と収益力の向上に努めています。

飲食業では、「KFC(ケンタッキーフライドチキン)イオンモール高知店」(高知県高知市)と「KFCフジグラン野市店」(高知県香南市)の2店舗を新設いたしました。一方で、経営効率を高めるために2店舗閉店いたしました。

また、3月より当社のクレジットカード事業を承継させ、株式会社フジ・カードサービスによる事業を開始いたしました。新カード「エフカ」の発行及び既存カードからの切り替えを当社とともに進め、カード関連事業での収益性の向上とカード情報を活用した営業支援の強化を図っています。

これらの結果、小売周辺事業の営業収益は53億54百万円(前年同期比8.9%増)となりました。

【その他】

不動産賃貸業では、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。これらの結果、その他事業の営業収益は2億44百万円(前年同期比1.7%減)となりました。

(注) セグメント別の営業収益には、売上高及び営業収入を含め、セグメント間の取引も含めています。

また、記載金額には消費税等を含めていません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、投資その他の資産が31億13百万円増加し、一方で、有形固定資産が4億7百万円減少したことなどにより1,544億32百万円となり、前連結会計年度末と比較し33億80百万円増加しました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金が25億51百万円増加し、一方で、長期借入金が18億35百万円減少したことなどにより947億9百万円となり、前連結会計年度末と比較し6億1百万円増加しました。

純資産の残高は、597億22百万円となり、前連結会計年度末と比較し27億78百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月15日に発表した第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 2 月28日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 5 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,301	5,712
売掛金	1,374	1,509
営業貸付金	2,215	2,047
商品	11,440	11,909
その他	2,139	1,817
貸倒引当金	△311	△294
流動資産合計	22,161	22,701
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	50,439	49,874
土地	30,922	31,135
その他（純額）	5,013	4,957
有形固定資産合計	86,374	85,967
無形固定資産	5,928	6,062
投資その他の資産		
差入保証金	12,918	12,935
建設協力金	8,062	7,646
その他	15,609	19,120
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	36,588	39,701
固定資産合計	128,891	131,731
資産合計	151,052	154,432
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,592	20,143
短期借入金	13,973	12,164
未払法人税等	816	530
賞与引当金	845	1,536
商品券回収損引当金	89	95
その他	8,613	8,796
流動負債合計	41,929	43,266
固定負債		
長期借入金	34,026	32,190
退職給付引当金	1,378	1,381
役員退職慰労引当金	274	244
利息返還損失引当金	971	931
長期預り保証金	12,268	12,183
資産除去債務	2,608	2,621
その他	650	1,890
固定負債合計	52,178	51,443
負債合計	94,108	94,709

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,921	15,921
資本剰余金	16,257	16,257
利益剰余金	<u>23,817</u>	<u>24,259</u>
自己株式	△35	△35
株主資本合計	<u>55,960</u>	<u>56,402</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	983	3,320
その他の包括利益累計額合計	983	3,320
純資産合計	<u>56,944</u>	<u>59,722</u>
負債純資産合計	<u>151,052</u>	<u>154,432</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 5 月31日)
売上高	73,536	72,347
売上原価	57,211	56,105
売上総利益	16,324	16,242
営業収入		
不動産賃貸収入	1,565	1,580
その他の営業収入	2,690	2,691
営業収入合計	4,256	4,271
営業総利益	20,581	20,513
販売費及び一般管理費	19,110	19,577
営業利益	1,470	935
営業外収益		
受取利息	60	54
受取配当金	75	78
持分法による投資利益	77	116
未請求ポイント券受入額	85	140
その他	157	153
営業外収益合計	456	542
営業外費用		
支払利息	233	194
商品券回収損引当金繰入額	15	19
その他	20	22
営業外費用合計	269	236
経常利益	1,657	1,241
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	9	18
リース解約損	—	1
投資有価証券評価損	5	—
店舗解約損失	24	14
特別損失合計	39	33
税金等調整前四半期純利益	1,618	1,208
法人税等	635	501
少数株主損益調整前四半期純利益	982	706
四半期純利益	982	706

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 5 月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	982	706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	292	2,333
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	3
その他の包括利益合計	286	2,337
四半期包括利益	1,269	3,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,269	3,043
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。